

(別紙)

令和5年6月定例会議 一般質問【日曜議会】

5番議員 武井 正広

山神町長に今後のまちづくりについて問う

4月の町長選挙では、新人での無投票当選は33年ぶり、そして12年ぶりの新町長誕生と町民から多くの期待を背負い山神町政が誕生した。

本町は、人口増加率県内1位、小田急線急行停車駅になるなど明るい話題は多いが、一方で高齢者人口増加に伴う支援体制や北部地域の活性化、そして現在進めている駅前通り線周辺地区土地地区画整理事業の進捗など課題もある。

山神町長は、取り組みたいことは「もっといくぜ！開成、好循環でみんな笑顔に！」を実現したいと以前から訴えられていた。

この好循環の実現に向け、すでに取り組みの構想は考えられていると思うが、今年度予算は既に決定し予備費も限りがある。中長期の取り組みも含めこの状況の中で様々な公約を、具体的にどのように実施され、好循環のまちづくりを行おうとしていくのか町民の関心は高い。そこで次のことについて町長の考えを問う。

1. 「もっといくぜ！開成、好循環でみんな笑顔に！」好循環を実現するために具体策は。
2. 教育のまち・かいせいに相応しい図書館の整備とはどのような構想を持っているのか。
3. 汗かく営業マンと自称されるが、財源確保の具体策は。